

国語科学習指導案

授業者 竹田 昌美

1 学年・組 第1学年2組（児童数 27名）

2 本時の目標

クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。

3 準備物

教材文 挿絵 写真 模型 ワークシート 表

4 本時の評価規準

「しごと」と「つくり」に着目して、クレーン車の特徴を読み取っている。

5 学習の展開（本時6 / 12）

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点（○）と評価及び評価方法（ ）
つかむ 8分	1 本時の課題を確認する。	○バスやトラックは、どんなことがどんな順番で書かれていましたか。 ・はじめは「しごと」で、次に「つくり」が書いてある。 ○クレーン車の絵を見て気づいたことはありませんか。 ・運転するところがせまい。 ・長いうでがある。 ・タイヤの横に脚がついている。 ・タイヤが浮いている。 ・物を引っかけるものがついている。	○学習計画をもとに、学習内容を確認する ○掲示を活用しながら、説明の順序を確認する。 ○挿絵から、仕事につながるクレーン車の特徴をつかませる。
	課題 ○音読をする。	クレーン車は、どんな「しごと」をしていますか。そのために、どんな「つくり」になっていますか。 ○音読をしましょう。	○書かれている内容が分かるように、文節を意識させながら音読させる。
考える 5分	2 自力解決をする。 ○バスやじょうよう車、トラックの書き方と比較させながら、クレーン車の「しごと」と「つくり」に線を引く。	○クレーン車はどんな「しごと」をしていますか。どのような「つくり」になっていますか。バスやじょうよう車、トラックの書き方と比べながら、分かるところに線を引きましょう。	○線を引けない児童に対しては、挿絵と対応させながら一文ずつ丁寧に内容を確認させる。

比べる

これまで学習してきた自動車の書き方とクレーン車の書き方を比べる。

深める 17分	3 友だちの考えから学ぶ。 ○ クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取る。 ○ 文章全体を振り返り，文章表現上の順序について考える。	○ クレーン車はどんな「しごと」をしていますか。 ・ 重いものを吊り上げる仕事 ○ どんな「つくり」になっていますか。 ・ じょうぶな腕があります。 ・ 腕が伸びたり動いたりします。 ・ しっかりした脚がついています。 - バス・乗用車やトラックは，どんな説明の順番でしたか。 ・ バス・乗用車は，「しごと」の次に，「つくり」です。 ・ トラックも同じです。 ・ 問いも「しごと」と「つくり」の順番です。 ・ みんな同じ順番です。 ○ 教科書のクレーン車の「つくり」と「しごと」の文を線で囲みましょう。	○ 書かれている事柄を挿絵や模型で確認したり，動作化させたりすることで，正しく読み取らせる。 ○ 掲示資料を提示しながら文章全体を振り返られるようにする。 ○ 「読み取りの視点」に沿って読んでいくと分かりやすいということに気付かせる。
まとめる 15分	4 まとめる ○ 本時の学習をまとめる。 ○ 次時の予告を聞く。	○ 今日勉強したことを思い出して，クレーン車の図鑑を作しましょう。 しごと：おもいものをつり上げるしごとをしています。 つくり：そのために，じょうぶなうでが，のびたりうごいたりするようにつくってあります。 車たいがかたむかないように，しっかりしたあしがついています。 ○ 次は，はしご車で自分の図鑑をつくりましょう。	評価規準及び評価方法 「しごと」と「つくり」に着目して，クレーン車の特徴を読み取っている。 (ワークシート)

じどう車 くらべ

クレーン車は、どんなしごとをしていますか。
そのために、どんなつくりになっていますか。

クレーン車

あし ながいので
タイヤがついている

しごと

クレーン車は、おもいものを
つり上げる しごとを していま
す。

クレーン車の
挿絵

そのために

その ために、じょうぶな
うでが、のびたり うごいたり
するように、つくって ありま
す。

つくり

車たいが かたむかないように、
しつかりした あしが ついて
います。

クレーン車の
写真

単元構想図（全 13 時間）

